

**Stage1**  
興味・関心  
をもつ段階

＜保育所、幼稚園＞「5年生の“朗読発表会”を聞きに行こう！」  
＜小学校＞「幼児を招待して“朗読発表会”をしよう！」

【5月】

**1** 活動のねらい

幼 児	児 童
◆5年生の国語の“朗読発表会”に参加して、児童が朗読する話を楽しみ、小学校の児童や先生、教室、そこで行われている教育活動に興味・関心をもつ。	◆国語の授業で、幼児を対象にした“朗読発表会”を行うことで、幼児に分かりやすく、楽しんでもらえるように読み方を工夫することができる。

**2** 指導の流れ

(1) 事前の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 5年生から“朗読発表会”の招待状が届いたことを伝える。
- 「5年生はみんなのために、どのような楽しいお話を聞かせてくれるのだろう。」と投げかけ、小学校を訪問することへの興味・関心をもたせる。

◆保護者への取組

- 幼児が参加する5年生の国語の授業の実施日時や参加のねらいなどを園だより等で知らせ、保護者も授業を参観するように働きかける。

・5年生から園長に、“朗読発表会”の招待状を届ける。

・園長から5年生に、幼児が読み聞かせに興味をもっていることや幼児に朗読してほしい本の候補を紹介する旨の手紙を届ける。

小学校

◆児童への指導

- “朗読発表会”に招待する聞き手は、来年の4月に入学してくる幼児であることを伝え、幼児に分かりやすく、楽しんでもらえるように読み方を工夫して朗読するという目標を明確にもてるようにする。
- 朗読する作品については、幼児が興味・関心もち、分かりやすい作品を選定するように働きかける。



わたしたちの朗読を聞いて、保育所や幼稚園の子供たちが喜んでくれると嬉しいな。

5年生のお兄さんやお姉さんが、みんなのために本を読んでくれるそうよ。小学校に聞きに行ってみようか。

5年生のお兄さんやお姉さんは、どんな本を読んでくれるのかな。楽しみだな。



(2) 交流の実施

小学校

◆幼児

- 5年生の朗読を聞く。

◆児童




- 幼児に分かりやすく、楽しんでもらえるように読み方を工夫しながら朗読する。(国語⑩)

▼国語：指導計画

単元名『“朗読発表会”をしよう！』(11時間)

- 1 心情や情景を想像しながら朗読の表現を工夫する。①～⑥
  - ・作品の心情や情景を読み取る。
  - ・聞き手に伝わるように工夫をする。
- 2 相手を意識した読み方を工夫し、朗読発表会に幼児を迎える準備をする。⑦～⑨
  - ・朗読する作品を決める。
  - ・聞き手となる幼児のことを考えながら読み方を工夫する。
- 3 幼児に分かりやすく、楽しんでもらえるように読み方を工夫して朗読する。⑩
- 4 “朗読発表会”の活動を振り返る。⑪

▼交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時間	児童の活動	幼児の活動	指導上の留意点	評価
10:40 ～ 11:25 3校時	<p>①グループごとに幼児を招き入れ、自己紹介を行う。</p> <p>②めあてを確認する。 保育所や幼稚園の子供たちに分かりやすく、楽しんでもらえるように読み方を工夫して朗読しよう。</p> <p>③めあてを踏まえて、グループごとに幼児に対して朗読する。</p> <p>④幼児の感想を聞き、自分たちのめあてが達成できたかどうかを確認する。</p> <p>⑤幼児とお別れのあいさつをする。 ・次の交流への呼びかけを行う。</p>	<p>①自分の名前を言い、自己紹介をする。</p> <p>②めあてを確認する。 5年生が読んでくれるお話を静かに聞いて、楽しかったことや分かったことを5年生に伝えよう。</p> <p>③5年生の朗読を聞く。 静かにお話を聞かないといけないね。</p> <p>④楽しかったこと、分かったことなどを発表する。 お話に出てくる人が、本当に言っているように聞こえました。</p> <p>⑤5年生にお別れのあいさつをする。 ・感謝の気持ちを伝える。</p> <p>⑥先生の引率により、廊下から小学生が授業をしている様子を見学する。</p>	<p>★事前にグループ割をしておく。</p> <p>★名札を着用してお互いが名前呼び合えるようにする。</p> <p>★めあてが分かっているか声をかける。</p> <p>★幼児に「お兄さんお姉さんのお話は上手だね。」と声をかけ、小学生への憧れを抱けるようにする。</p> <p>★次回の交流への期待感をもてるように声をかける。</p> <p>★授業をしている小学生の迷惑にならないように静かに廊下を歩くように声をかける。</p>	<p>★5年生の朗読を楽しんで聞いているか。</p> <p>★自分の感想を進んで発表しているか。</p> <p>★静かに廊下を歩きながら授業の様子を参観しているか。</p>
11:30 ～ 12:15 4校時	<p>他の子供たちは、どんな勉強をしているのか、廊下から見てみよう。</p>			

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携

(3)事後の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 帰りの会等で、小学生と触れ合って「楽しかったこと」「すてきだなと思ったこと」などについて振り返り、「また小学校に行きたい」という気持ちが高まるようにする。
- 日常の遊びの中で、“読み聞かせごっこ”のような遊びにつながるような環境を整えて、小学校での“朗読発表会”の経験を生かせるようにする。

小学校

◆児童への指導

- 「幼児に分かるように読み方を工夫することができたか」「話を聞いて幼児が楽しめていたか」ということを振り返り、相手のことを考えながら接することの大切さに気付かせ、高学年としての自覚を高めるようにする。
- 幼児と交流する活動の年間計画について伝え、幼児と触れ合うことに興味・関心をもてるようにする。

**Stage2**  
慣れ親しむ  
段階

<保育所、幼稚園> 「“子ども祭り”の5年生の出し物で遊ぼう！」  
<小学校> 「幼児が楽しく遊べるように5年生の出し物を案内しよう！」

【10月】

**1** 活動のねらい

幼児	児童
◆ “子ども祭り”の5年生の出し物に参加し、5年生と触れ合いながら遊ぶことで、小学校の児童や先生、教室、そこで行われている教育活動に慣れ親しむ。	◆ 幼児が楽しく遊べるように出し物を案内したり遊びの補助をしたりすることで、幼児のことを来年入学して来る1年生として意識し、最上級生となることへの自覚を高めるようにする。

**2** 指導の流れ

(1) 事前の指導

保育所、幼稚園

◆ 幼児への指導

- 5年生から、今度は“子ども祭り”への参加を呼びかけるビデオレターが届いたことを伝える。
- 5年生の出し物で遊ぶことを伝え、各学級の出し物の概要を説明する。
- 「どの出し物に行ってみたいかな。」と投げかけ、小学校を訪問することへの興味・関心をもてるようにする。

◆ 保護者への取組

- 幼児が参加する“子ども祭り”の実施日時や参加のねらいなどを園だより等で知らせ、“子ども祭り”を参観するように働きかける。

・ 5年生から園長に、“子ども祭り”への参加を呼びかけるビデオレターを届ける。

・ 園長から5年生に、幼児が“子ども祭り”を楽しみにしている旨のビデオレターを届ける。

小学校

◆ 児童への指導

- “朗読発表会”を聞きに来た幼児が、今度は“子ども祭り”に遊びに来ることを伝え、活動への見通しと興味・関心をもたせるようにする。
- 学級活動の時間に、「幼児が5年生の出し物を楽しめるようにしよう！」という主題で、当日の幼児とのかかわり方について話し合う。
- ・ 役割分担で、幼児に付き添う係をつくる。
- ・ 幼児に進んで声をかけて、出し物のやり方を教えてあげる。
- ・ 出し物のルールは、小学生用のものと幼児用のものを用意する。

5年生のお兄さんやお姉さんから、“子ども祭り”の招待状が届いたよ。5年生のどの出し物に行ってみたいかな。

“子ども祭り”でボウリングをやってみたいな。

お化け屋敷は怖そうだけど、大丈夫かな。



(2) 交流の実施

小学校

◆ 幼児

- “子ども祭り”の5年生の出し物で遊ぶ。

◆ 児童

- 幼児が楽しく遊べるように出し物を案内する。



出し物のやり方が分かるかどうか、進んで聞いてあげよう。

うまくできないときは手伝ってあげよう。



（幼児と1年生の交流）  
幼児と児童の交流




（幼児と5年生の交流）  
幼児と児童の交流

（幼児と2・4・5年生の交流）  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携

▼交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時間	児童の活動	幼児の活動	指導上の留意点	評価
9:35 ～ 10:20 2校時	①集合場所から教室まで幼児を案内する。	①集合場所で、めあてを確認する。 5年生に案内してもらいながら、自分の好きな出し物に行き遊ぼう。	★トイレ、水飲み、参加終了時刻、集合場所などについて伝える。 ★めあてが分かっているか声をかける。	
10:40 ～ 11:25 3校時	②出し物をする教室で幼児が入ってくるのを待つ。 ・幼児が部屋をのぞいたら、進んで声をかけて入室を促す。	②自分の行きたい出し物の教室へ行く。  最初は、“子供縁日”に行きたいな。	★自分が行きたい出し物に行くように声をかける。	★自分の行きたい出し物に進んで行っているか。
	③出し物の内容やルールを説明し、案内する。 ・やり方やルールが分かるかどうか進んで声をかける。 ・うまくできるように助言する。 ・必要があれば適宜トイレや水飲みなどに連れて行く。	③5年生に案内してもらいながら出し物で遊ぶ。 ・ルールや順番を守って遊ぶ。 ・分からないことは5年生に積極的に聞く。	★遊びのやり方やルールが分からない幼児には、5年生に聞くように促す。	★出し物で楽しく遊んでいるか。
	④幼児を5年生の他の学級に案内する。  今度は、どこに行きたいかな。	④5年生の他の学級の出し物に行く。  今度は“お化け屋敷”に行きたいな。ちょっと怖いから、5年生と一緒に回りたいな。	★次に自分が行きたいものを決めるように声をかける。	★自分の行きたい出し物に進んで行っているか。
	⑤幼児の参加終了時刻になったら、集合場所に案内する。	⑤遊んで楽しかったことや5年生に助けてもらって嬉しかったことなどを発表する。	★遊んでいて楽しかったことや5年生に助けてもらって嬉しかったことはないか声をかける。	★楽しかったことを進んで発表しているか。

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携

(3)事後の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 帰りの会等で、楽しかったことや嬉しかったことなどについて振り返り、「また小学校に行きたい。」という気持ちが高まるようにする。
- 日常の遊びの中で、“お店やさんごっこ”のような遊びにつながるような環境を整えて、小学校での“子ども祭り”で遊んだ経験を生かせるようにする。

小学校

◆児童への指導

- 帰りの会等で、幼児を案内した感想を発表し合うとともに、4月には6年生として1年生のお世話をすることを伝え、最高学年に進級することへの自覚を高めるようにする。
- “子ども祭り”の出し物に幼児を案内した感想などをビデオレターにまとめ、保育所や幼稚園に届ける。

**Stage3**  
期待感を  
高める段階

＜保育所、幼稚園、小学校＞

「みんなで力を合わせて新1年生の教室の“飾り”をつくらう！」

【3月】

**1** 活動のねらい

幼 児	児 童
◆自分の思いや願いを發揮しながら5年生と協同して、新1年生の教室の“飾り”をつくることで満足感を味わい、小学校生活への期待感を高める。	◆新1年生の教室の“飾り”を幼児と一緒につくることを通して、幼児の思いや願いを引き出しながら接することの大切さを感じるとともに、最高学年に進級することへの自覚を高める。

**2** 指導の流れ

(1) 事前の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 5年生から、今度は、新1年生の教室の“飾り”を一緒につくることを呼びかける内容のビデオレターが届いたことを伝える。
- 新1年生の教室の“飾り”の写真を見せて、「どのような“飾り”をつくりたいか。」と投げかけ、小学校を訪問することへの興味・関心をもたせる。

◆保護者への取組

- 幼児が参加する新1年生の教室の“飾り”をつくる授業の実施日時や参加のねらいなどを園だより等で知らせ、授業を参観するように働きかける。

・5年生から園長に、新1年生の教室の“飾り”を一緒につくることを呼びかけるビデオレターを届ける。

・園長から5年生に、幼児が“飾り”を一緒につくることを楽しみにしている旨のビデオレターを届ける。

小学校

◆児童への指導

- 学級活動の「事前の活動」において、4月に最上級生となる立場から、「新1年生が入学への期待感もてるようにするには、どのようにしたらよいか。」という問題意識を共有化しながら議題を決定する。
- 新1年生の教室の“飾り”をつくる際には、幼児が入学への期待感もてるように、幼児が“飾り”のアイデアを考えたことや頑張っていることなどを賞賛する声かけを進んでするように伝える。



保育所や幼稚園の子供たちが考えた“飾り”のアイデアも取り上げてあげたいな。

いつもお世話をしてくれる5年生が、「新1年生の教室の“飾り”を一緒につくらう」と言ってくれているよ。



教室の“飾り”をつくるなんてわくわくするな。色紙でリングをつくって飾りたいな。



(2) 交流の実施

小学校

◆幼児 ◆児童

- みんなで力を合わせて新1年生の教室の“飾り”をつくる。  
(学級活動②③)




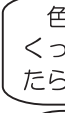


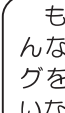

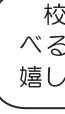


▼学級活動：指導計画

主題『新1年生の教室の“飾り”をつくらう』

(3時間)

- 1 新1年生の教室の“飾り”をつくる計画について話し合う。①
  - ・どのような飾りにするか
  - ・どこまで準備するか
  - ・作業までの役割分担はどうするか
- 2 幼児と協同して新1年生の教室の“飾り”をつくる。②③
- 3 事後の振り返りを行う。(帰りの会)

◆交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時 間	児童・幼児の活動	指導上の留意点	評 価
9:35 ～ 10:20 2校時	①グループごとに幼児が入る。 ②代表児童がめあてを発表する。 みんなで力を合わせて新1年生の教室の“飾り”をつくろう。 ③5年生が準備した見本や材料を見ながら、つくりたい“飾り”について話し合う。   	★事前にグループ割をしておく。 ★めあてが分かっているか声をかける。  ★作り方が分からない幼児には、積極的に5年生に聞くように指示をする。	★5年生と積極的にかかわろうとしているか。  ★5年生との話し合いに参加しているか。
10:20 ～ 10:40 休み時間	④新1年生の教室を飾る“飾り”をつくる。  	★5年生とうまくかかわれない幼児には、一緒に活動に加わるなどしながら声をかける。	★5年生と積極的にかかわり楽しく“飾り”をつくっているか。
10:20 ～ 10:40 休み時間	○グループの幼児とトイレや水飲みに行ったり、校庭へ遊びに行ったりする。  	★小学校の先生と分担して校庭と校内の幼児の活動を見取り援助する。	★授業と授業の間に休み時間があることを感じているか。
10:40 ～ 11:25 3校時	⑤新1年生の教室を飾る“飾り”をつくる。 ⑥活動を振り返り、楽しかったことや嬉しかったことを発表する。  	★全員が満足感をもてるように声をかける。  ★入学に向けて期待感をもてるように声をかける。	★自分の思ったことや感じたことを進んで発表しているか。
	⑦5年生から幼児に対して、4月に入学してくるのを楽しみにしている旨の呼びかけをする。		

(3) 事後の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 帰りの会等で、楽しかったことや嬉しかったことなどについて振り返り、活動への満足が高まるようにする。
- 5年生とのこれまでの交流を振り返り、楽しかったことやおもしろかったことを絵に描く活動を設定して、小学校生活への期待感を高めるようにする。

小学校

◆児童への指導

- 帰りの会等で、幼児と交流した感想を発表し合うとともに、4月には6年生として1年生のお世話をすることを伝え、最高学年に進級することへの自覚を高めるようにする。
- 新1年生の教室の“飾り”が完成したことをビデオレターにまとめ、保育所や幼稚園に届ける。

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携